



ネオウォーターベース プレップアンダークリヤーⅡ

ROCK PAINT

環境対応型 ネオウォーターベース ボカシ際処理剤

商品概要・用途

本品は、水性ベースコート塗料 ネオウォーターベースのボカシ塗装時に使用するボカシ際処理剤です。
ボカシ塗装時に飛散するスプレーミストを塗装面になじませる目的で使用します。

品目コード(品番・缶種)・品名・容量 / 商品外観

979-4951-02	ネオウォーターベース プレップアンダークリヤーⅡ	3.5L
979-4953-02	ネオウォーターベース プレップレギュレーター(標準型)	3.5L
979-4955-02	ネオウォーターベース プレップレギュレーター(遅乾型)	3.5L



特長

- ・ボカシ塗装時のスプレーミストのなじみ性を向上させる効果があります。

主剤と副剤

主 剤 : ネオウォーターベース プレップアンダークリヤーⅡ

希釈剤 : ネオウォーターベース プレップレギュレーター(標準型) / プレップレギュレーター(遅乾型)

※ネオウォーターベース プレップレギュレーターは、ネオウォーターベース プレップアンダークリヤーⅡ
専用の希釈剤です。

使用可能な塗料

979L ネオウォーターベース

保管条件 / 貯蔵安定期間



ネオウォーターベース プレップアンダークリヤーⅡ : 5℃～35℃ 2年間 (未開封時)

ネオウォーターベース プレップレギュレーター(標準型) : 5℃～35℃ 5年間 (未開封時)

ネオウォーターベース プレップレギュレーター(遅乾型) : 5℃～35℃ 5年間 (未開封時)

※保管温度は20℃一定が最適です。

保護具 / 安全衛生



適切な安全保護具を装着してください。



詳細は安全データシート(SDS)を参照ください。

目 次

1. プレップレギュレーター の使い方	3
2. 語句説明／塗装方法:ボカシ剤について	4
3. 標準塗装条件／注意事項／下地処理	5
4. ■タッチアップ塗装 例	6

ピクトグラム



保管条件
貯蔵安定期間



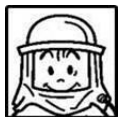
塗装方法
(スプレーガン)



コート回数



手研ぎ (水)



保護具着装



配合条件
(重量比)



注意事項



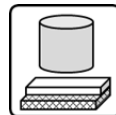
足付け



安全衛生



可使時間



適合下塗り塗料



脱脂清掃



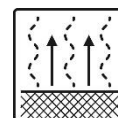
使用方法



ガン条件
(重力式)



機械研ぎ (空)



フラッシュオフ時間
セッティング時間

ネオウォーターベース プレップアンダークリヤー II

For Professional Use Only

プレップレギュレーター の使い方

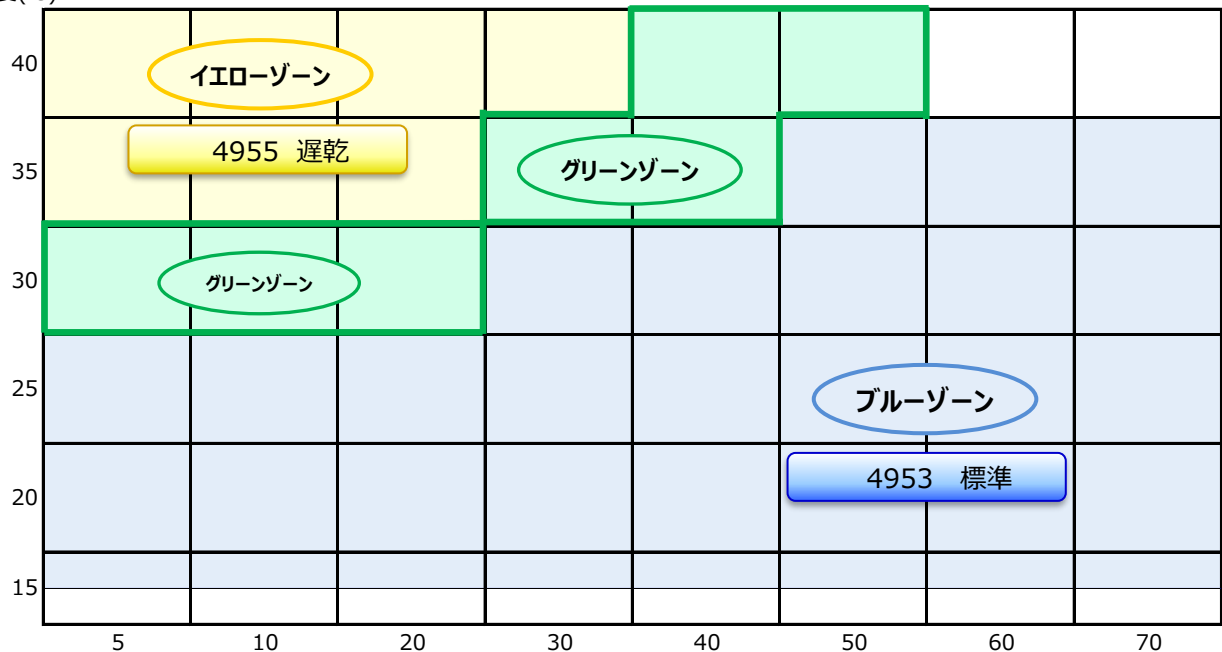


・使用コンディションによって、プレップレギュレーターを選択し使用してください。

使用コンデション	プレップレギュレータの選択
イエローゾーン	4955 プレップレギュレーター（遅乾）
グリーンゾーン (ブルーゾーンとイエローゾーンの隣接エリア)	4955 プレップレギュレーター（遅乾） + 4953 プレップレギュレーター（標準）
ブルーゾーン	4953 プレップレギュレーター（標準）

・使用コンディション

温度(℃)



湿度(%RH)

※ブルーゾーンとイエローゾーンの隣接エリアとなるグリーンゾーンは、互いのプレップレギュレーターを任意で混合し使用してください。

※最適なプレップレギュレーターの選択は、湿度・温度・塗装面積など種々の条件によって変わります。

語句説明

ボカシ剤 = ネオウォーターベース プレップアンダークリヤー II + プレップレギュレーター(希釈剤)

塗装方法：ボカシ剤について



カラーベース塗装前にプラサフ塗装部位以外の面全体へ、わずかに艶が出る程度の塗り加減で薄く均一に塗装してください。カラーベースのボカシ塗装時に飛散するスプレーミストをなじませる効果や静電気等の影響による筋引き現象を抑える効果があります。



- ・最初のボカシ剤1コート目は、垂らさないよう塗り込み量に注意してください。
- ・プラサフ部にボカシ剤が過度に付着した場合は、エアブローでプラサフ部のみ乾燥させてからカラーベースを塗装してください。カラーベースにハジキの様相が生じる場合がありますので注意が必要です。
- ・カラーベースの塗装は、ボカシ剤が乾く前に行ってください。

ボカシ塗装工程時の途中は、スプレーミストのなじみ具合に応じてボカシ剤を適宜を加えてください。

- ・高湿度等の塗装条件によっては省略が可能です。
- ・カラーベースの塗装は、ボカシ剤が乾く前に行ってください。
- ・カラーベースのボカシ塗装部分は、ボカシ剤のオーバーラップによりウェットになり過ぎないように注意してください。メタリック／パール系塗色では、泳ぎムラの原因になります。
- ・カラーベースのボカシ塗装工程でボカシ剤を複数加える際には、塗り込み量を控えつつ、塗り肌が平滑になるように配慮して塗装することを推奨します。塗り肌の平滑性は仕上り品質向上に寄与します。

塗装方法の詳細は、本TDS内「標準塗装条件」、「■ タッチアップ塗装 例」を参照ください。

ネオウォーターベース プレップアンダークリヤー II

For Professional Use Only

標準塗装条件



100 ネオウォーターベース プレップアンダークリヤー II
100～120 ネオウォーターベース プレップレギュレーター（標準型） / （遅乾型）



100～120希釈 プレップレギュレーター混合後12時間以内
※当日を使用を前提として、可能な限り速やかに使用してください。



参考 スプレーガン設定例 meiji F-ZERO TypeB

スプレーガン口径 1.6mm

スプレーパターン※ 4回転

吐出量※ 4回転

スプレー圧力 0.14MPa（手元圧力）

※パターン、吐出量は全閉からの開放回転数



1コート目 1回 シングルコート
2コート目以降 1～2回 シングルコート ※高湿度等の塗装条件によっては省略可能です
※なじみ性の効果を得るために、乾く前にカラーベースを塗装してください。

注意事項



- ・上記以外の商品への混合は不可能です。
- ・液温はネオウォーターベースに準じ、15℃以上で使用してください。
- ・配合前には容器をよく振って（10回程度）、全体を均一にしてからご使用ください。
- ・配合後は十分に攪拌し、可能な限り速やかに使用してください。

下地処理

工 程	作業要領	ポイント
プラサフ	●ロック プラサフ クライマックス / カラーステージ	・商品のTDS、カタログを参照。 ・指定のHBCカラーNO.を下塗りに使用する。
	空研ぎ P600～P800※ ¹ / 水研ぎ P1000程度	※ ¹ ダブルアクションタンダー（ソフトパッド付）
足付け	ホカシ剤塗装部位:P1500程度	・足付けは、被塗面の艶が無くなるまで均一に行う。 ・クリヤーのホカシ剤塗装部位については、『エマルチ プレンダー / スロー』のTDSを参照ください。
脱脂	●プレソル31（除電タイプ 標準型） ※高温時はプレソル32（除電タイプ 遅乾型）	・被塗面を十分に濡らしてから、乾かないうちに別の清潔なウエスで丁寧に拭き取る。
	●プレクリーナー（水性系脱脂剤）	・拭き残しがないよう注意。金属面への使用は不可。

ネオウォーターベース プレップアンダークリヤーⅡ

For Professional Use Only

■ タッチアップ塗装 例

配合:重量比

工 程	塗装回数	塗装方法とポイント
ボカシ剤 	1	・プラサフ部位には極力塗装しないように注意する。 ・わずかに艶が出る程度の塗り加減で薄く均一に塗装し、乾燥する前にカラーベースを塗装する。
カラーベース 	1～2	・艶、肌を均一にミディアムコートで色決めを行う。
		・推奨のフローガンを使用し、艶が引けるまでエアブロー。
ボカシ剤 	1	・高湿度等の塗装条件によっては省略可能。 ・わずかに艶が出る程度の塗り加減で薄く均一に塗装し、乾燥する前にカラーベースを塗装する。 ・カラーベースのボカシ際は、ウェットになり過ぎないようにオーバーラップに注意する。
カラーベース 	1～2	・スプレーガンを若干離し、色決めとムラ取りの中間くらいで塗装。 ・ガン距離をやや離し、パターン重ね幅を多くし、極端なボカシ際を出さないよう塗り広げる。
		・推奨のフローガンを使用し、艶が引けるまでエアブロー。
ボカシ剤 	1	・高湿度等の塗装条件によっては省略可能。 ・わずかに艶が出る程度の塗り加減で薄く均一に塗装し、乾燥する前にカラーベースを塗装する。 ・カラーベースのボカシ際は、ウェットになり過ぎないようにオーバーラップに注意する。
カラーベース 	1～2	・スプレーガンを離し、ドロップコートで仕上げる。
		・推奨のフローガンを使用し、塗面の艶が均一に引けるまでエアブローを行ったのち、更に10分以上エアブローを継続させてからTCCの塗装を開始してください。
TCC (トップコートクリヤー)		・『ネオウォーターベース』のTDS、標準塗装仕様書を参照ください。 ・クリヤーボカシ塗装の際は『エマルチフレンダー/スロー』のTDSを参照ください。

※使用コンディションを確認し、プレップレギュレーターを選択してください。

※スプレーミストの荒れにくい高湿度条件下等では、スプレーミストのなじみ具合に応じてボカシ剤工程はスキップが可能です。

※ボカシ剤塗装面にゴミ等が付着した場合には、必ず艶が無くなるまでしっかりと乾燥を行ってから中研ぎ作業を行ってください。

※各色タイプの標準塗装仕様については、『ネオウォーターベース』のTDS内の各塗装仕様書(ブロックまたはタッチアップ塗装)を参照ください。